

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 956 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.78 K くん（令和 2 年 3 月卒・機関専攻・現 22 歳） 大中型まき網漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ まだ機関の仕事はしていません。現在は、網手繰り、魚見（対象がかつお・まぐろの時）、雑用（トイレ・風呂掃除、窓洗い、水とり（船に清水を積み込むこと））等をしています。

Q 大変な事は？

- ・ 次の操業がスムーズに行えるように、網を上手く手繰ること。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 県外の港（釧路、小名浜、銚子、三崎等）に水揚げしたときに、その地の名物を食べられること。釧路で食べた「スパカツ」がとても美味しかった。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 水産高校在学中には学校で海技士試験（航海 4 級筆記）を実施しましたが、学園では、名古屋に受験に行き、他の受験生もいる中での試験だったので、非常に緊張しました。

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ ロープワーク。
- ・ （新人なので、まだ網修理はやらせてもらえませんが、いつ振られても対応できるように、学園の実習を思い出しつつ、先輩の仕事をしっかり見るようにしています。）

Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 乗りたかった浜平丸に乗れたこと。
- ・ 色々な資格が取得できたこと。

☆ 在学生にアドバイス

- ・ 元気なこと。挨拶ができること。この 2 つは本当に大切だと思います。在学中から挨拶の習慣を身に付けておくようにしてください。

（令和 2 年 8 月 31 日）